

地域医療連携による膵がんの早期発見・早期治療を目指す

「膵がん早期発見プロジェクト」

三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科

山田玲子、中川勇人

令和5年2月16日

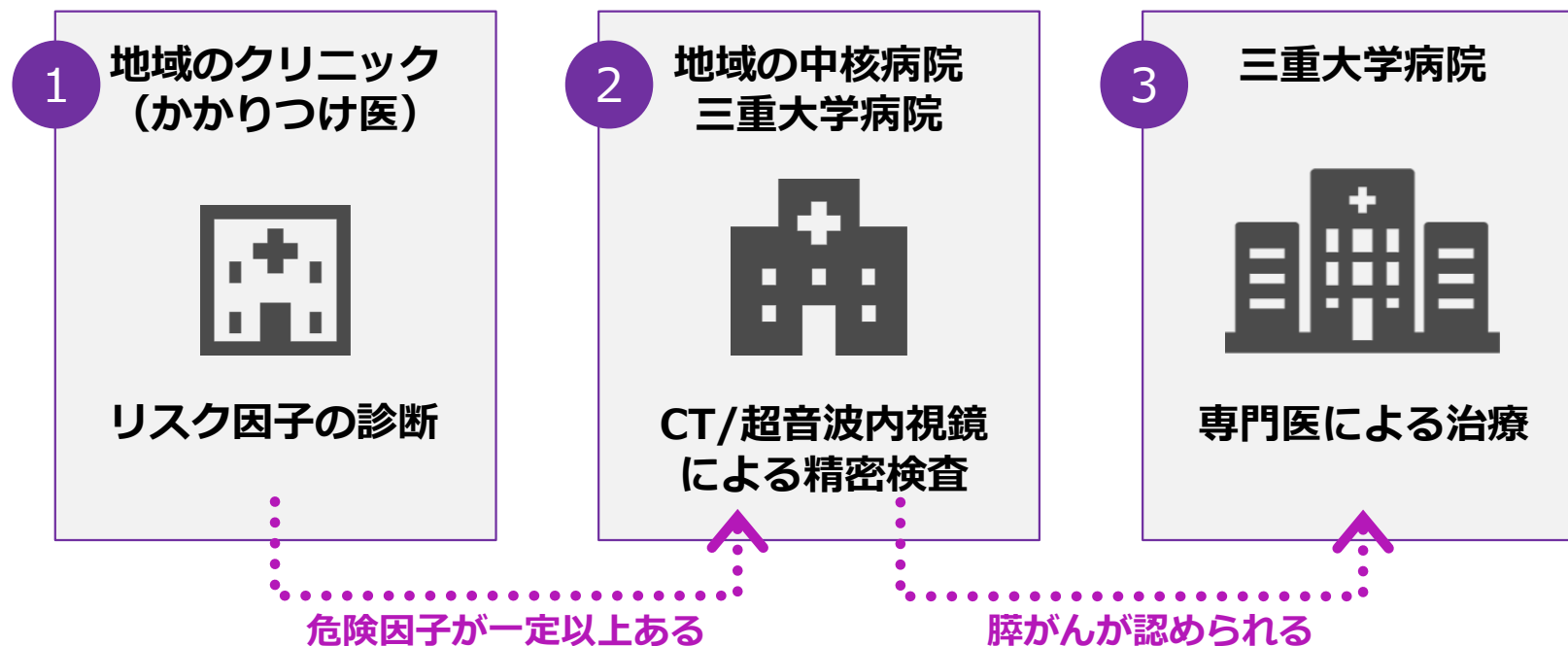


三重県
三重大学病院
三重県医師会
共同プロジェクト

2023年1月
スタート

三重県の膵がん患者さんの生存率の向上を目指す 三重県膵がん早期発見プロジェクト

身近なかかりつけ医で膵がんリスク因子の拾い上げ、
膵がんの早期発見・早期治療を推進



膵がんには
積極的な
早期発見の取り組みが
不可欠

01 初期症状が出にくい

自覚症状が出にくく、一般的な健康診断では見つけられないため、発見されたときには進行していることが多い。

02 診断が難しい

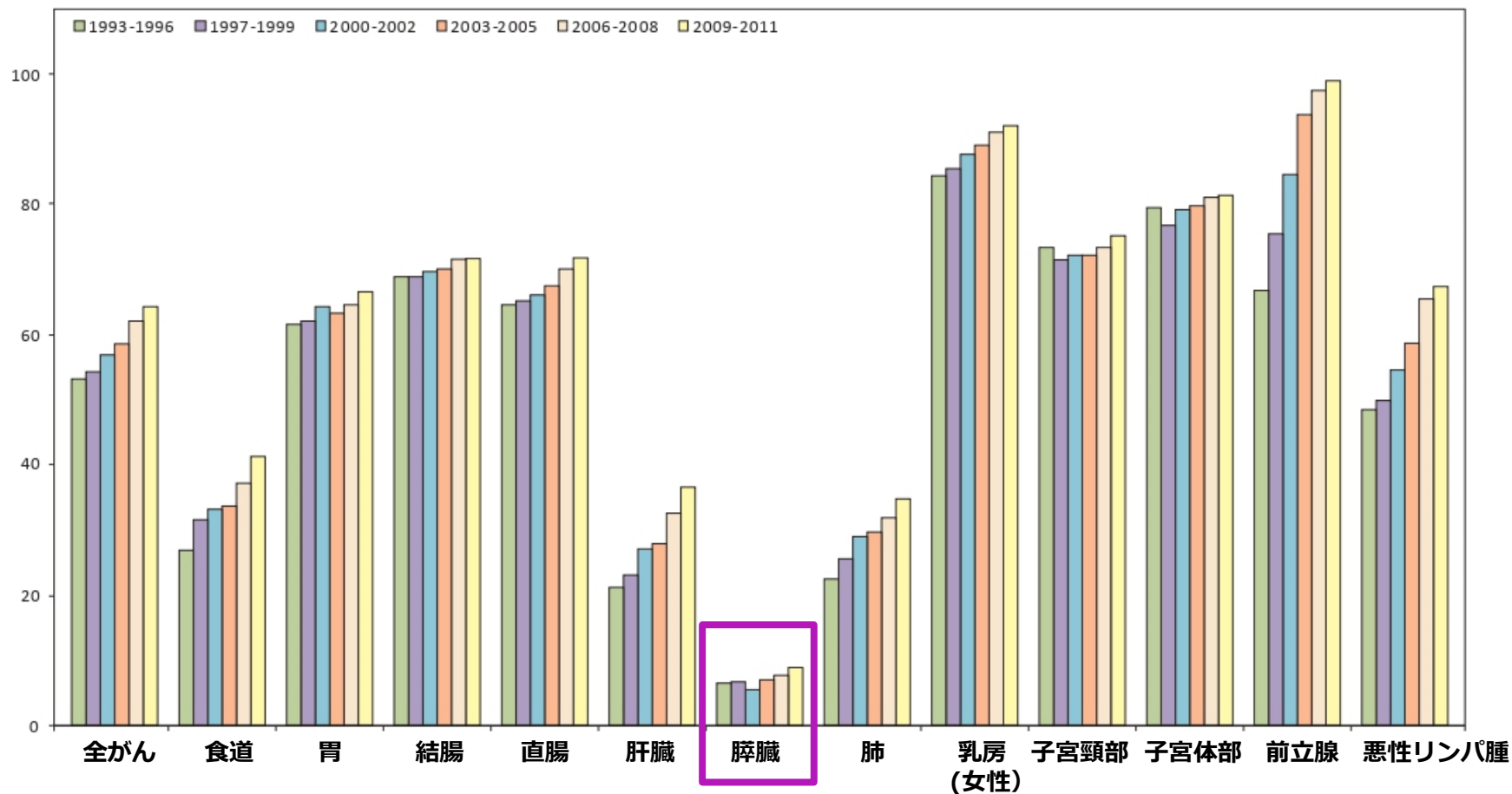
膵臓は胃の裏側に位置し、CTやEUS（超音波内視鏡）でなければ診断できない。

03 5年生存率が10%未満

標準治療が確立されておらず、進行がんである場合が多いため、がんの中で最も難治性の高いがんである。

がんの中でも
特出した
低い生存率

5年相対生存率 (%)

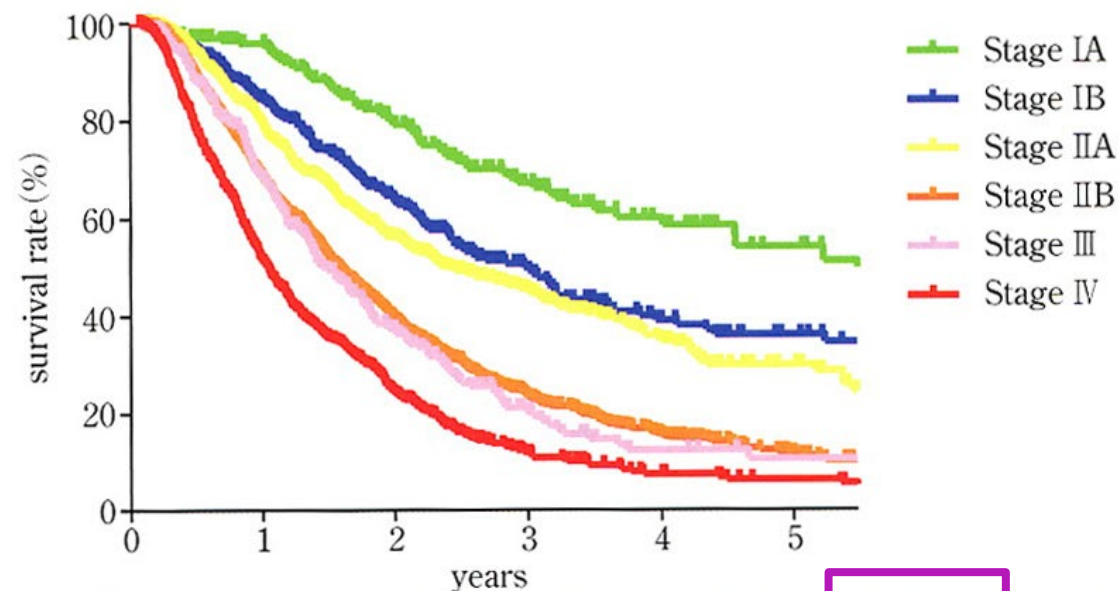


“早期発見できれば
生存率が
大きく改善”

Stage IA（がんの大きさ2cm以下）
で5年生存率が50%超

できるだけ早期に見つけ、
早期に治療を開始することが、
何よりも重要

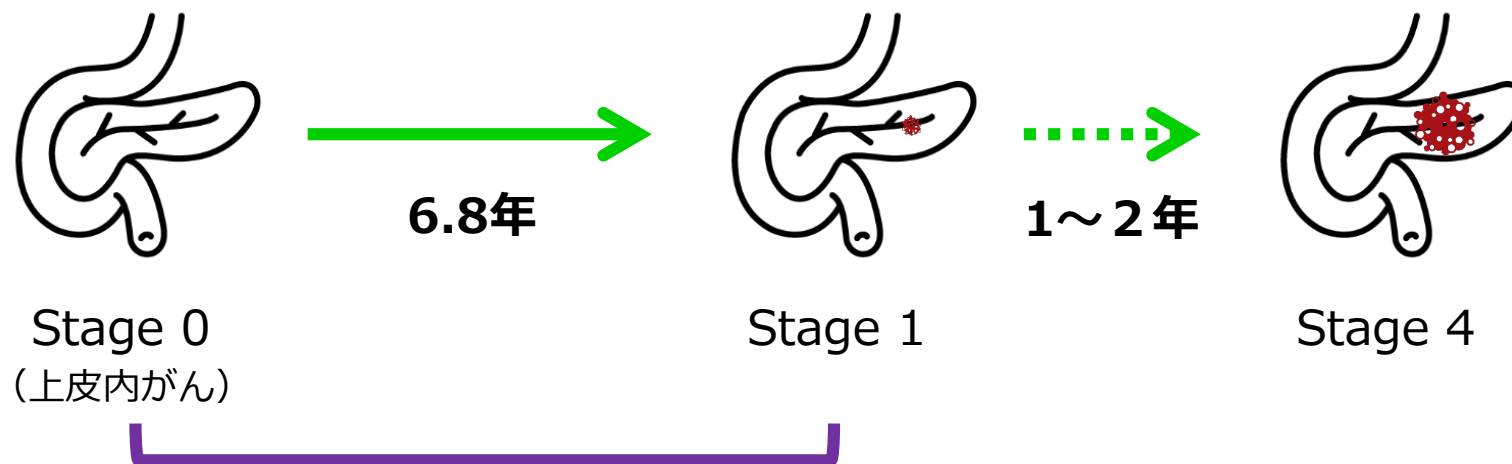
膵がん登録症例におけるStage別の生存率



	MST (mo)	1年 生存率	2年 生存率	3年 生存率	5年 生存率	
Stage IA (n=201)	69.4	95.9%	79.1%	67.1%	54.1%	p<0.0001 p=0.0757 p<0.0001 p=0.4195 p<0.0001
Stage IB (n=310)	36.1	84.7%	63.3%	50.0%	36.2%	
Stage IIA (n=615)	29.4	79.3%	56.0%	45.3%	29.9%	
Stage IIB (n=1,367)	19.2	68.6%	39.2%	23.4%	11.8%	
Stage III (n=257)	18.1	68.4%	36.9%	20.4%	10.7%	
Stage IV (n=565)	12.7	51.5%	24.2%	12.2%	6.5%	

Stage 0 から
Stage 1 へは
約6.8年

Jun Y. et al. Gut 2015.
SEERデータベースから13,131人の膵癌患者を検討



三重県膵がん早期発見プロジェクトは、
Stage 0 から Stage 1 のがんを拾い上げる
取り組み

身近な かかりつけ医で 受けられる リスク診断

2点以上

三重大学病院・地域中核病院
での画像精密検査へ

- ◆ CT
- ◆ EUS(超音波内視鏡)

膵がんのリスク指標

1点

膵がんが疑われる症状
(腹痛、黄疸、背部痛、最近の体重減少)

1点

新規の糖尿病、または糖尿病の増悪

1点

膵がんの家族歴(親子、兄弟・姉妹)

1点

血清AMYの異常値(高値、または低値)

1点

血清CA19-9の高値

2点

エコーなどの画像検査で膵管拡張や膵嚢胞などの所見

2021－2022 津市

先行モデル としての成果

概要

- 三重大学病院、津市内の中核病院、津地区医師会、久居一志地区医師会の連携により実施
- 2021年1月～（進行中）

成果

- **三重大学での膵癌早期発見の数が増加**
- **通常発見が困難な10mm以下（Stage 0）での発見も複数例**

“小さながんを見落とさない”

三重県膵がん早期発見プロジェクト

かかりつけ医を窓口とした
膵がんリスク診断をベースに
三重県の膵がん患者さんの生存率の向上へ



公益社団法人
三重県医師会

☑ リスクチェックで膵がんを見落とさない!

膵がんの早期発見、 かかりつけ医で相談できます

膵がんの治療には、
“早期発見”が何よりも大事です。

難しいがんの一つとして知られる、膵がん。
自覚症状も出にくい、見つかった時には進行していることも多く、5年生存率もあまりよくありません。
しかしながら、早期に発見できれば、治療の可能性がぐんと高まります。

三重県内のクリニックで一次診断可能です。
「膵がんの早期診断」とお伝えください。

早期発見の第一歩は、リスクサインに気づくこと。
三重県では、皆さんのかかりつけ医で膵がんのリスク診断を受けることができます。
膵がんに特徴的なリスク指標に基づき、必要と判断された場合には、精密検査の手続きも簡単です。

三重県内のかかりつけ医にて
膵がんリスクの定期チェック
(問診・血液検査・画像検査)

膵がんのリスク診断

膵がんの疑いが否定できない場合

三重県内の中核病院にて
精密検査
(画像診断・細胞診など)

かかりつけ医がフォロー

特に下記に心当たりがある方は、
積極的な定期チェックをおすすめします。

- ☑ 原因不明の腹痛や背部痛、黄疸、体重減少
- ☑ 糖尿病の発症または悪化
- ☑ 血縁者における膵がん

■ 診察・検査には、保険による自己負担分が必要です。

お問合せ

三重県内のクリニック、または三重大学附属病院総合サポートセンター(059-232-1111)まで

